

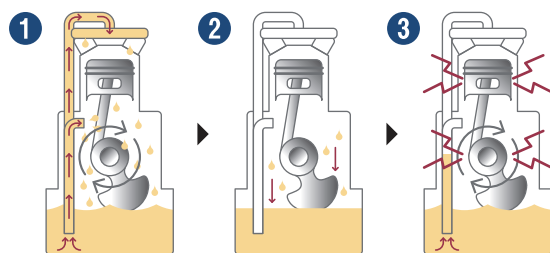


「私の車にはオイル添加剤なんて必要ない!!」 と思っている方いらっしゃいませんか?

「ほとんど乗らないから添加剤なんていらない!!」
と思っている方…

実は車のエンジンは、毎日乗る車よりたまにしか乗らない車の方が傷んでいるのです。エンジン内部はオイルで守られているのですが、長期間動かしていない車のエンジンを始動させる時は、オイルがエンジンの下部に溜まっている状態で、エンジン各部に十分なオイルがいきわたっていません。このような状態でエンジンを掛けるとオイルが不足したまま金属表面がこすれ合います。これが「ドライスタート」で、エンジンを傷める原因だと言われています。このドライスタートから愛車を守るため、MT-10エフィをお勧めします。

※ドライスタートはエンジンを傷める原因になりますが、即座に故障につながるものではありません。



通常運転時

エンジンオイルがオイルパンからエンジン各部に運ばれ、潤滑の役割を果たします。

エンジン停止

エンジンオイルが下部のオイルパンに戻り、1週間も経つと各部にはほとんどオイルは残っていません。

エンジンをかけると

この状態でエンジンを始動すると、一瞬オイルが不足したまま金属表面がこすれ合います。これが「ドライスタート」です。

「古い車だから今さら添加剤なんていらない!!」
と思っている方…

新車に比べて、エンジン音が大きくなっていたり、振動が大きくなっていたりしませんか？ MT-10エフィを添加することでエンジン音や振動を低減する事ができます。永く乗られた車の方がMT-10エフィの添加前との違いがわかりやすいので、きっとご満足頂けることでしょう。

「もうすぐオイル交換するからその時までいらない!!」
と思っている方…

一般的な添加剤は、オイル交換時に添加して、次のオイル交換までが効果持続期間ですが、MT-10エフィは金属表面を改質しますので、オイル交換しても効果が持続します。添加後、金属表面改質に必要な期間※さえ経過すれば、いつでもオイル交換して頂けます。つまり、オイル交換のタイミングに関係なくいつでも添加できるのです。 ※添加後約100kmの走行が目安。

●MT-10エフィ添加前

金属面

●MT-10エフィ添加後

金属面

極圧被膜 低摩擦被膜A 低摩擦被膜B

エンジン内部の金属表面には超微細な凹凸やひび割れが存在します。

MT-10エフィ添加後は、ナノオニオンライクカーボン等の成分により、「極圧被膜」と「2種類の低摩擦被膜」の複合被膜を金属表面に形成。低油温状態でも極めて高い保護効果を発揮し、摩擦抵抗を極限まで低減させます。

※金属表面改質のイメージ図

「新車だから必要なし!!」
と思っている方…

新車はもともと調子がいいから、入れても変わらないし必要もないと思いがちですが、MT-10エフィは新車時から添加する事でエンジン内部を摩擦や摩耗から守り、新車時の状態をより永く保つことができます。

MT-10エフィは、ハイブリッド車・
アイドリングストップ車のエンジン保護
効果をさらに向上させました。

エムティーテン エフィ
MT-10 EFFI



長期間
効果持続で
経済的



※効果、持続期間はお車の使用状況によって異なります。
約20,000kmの走行を目安に再注入をおすすめします。